



「ほっとルーム」だより

第186号 令和6年2月1日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(子どもみらい課内 TEL 33-5618)

アンケートへのご協力ありがとうございました

市内全小学校の保護者の皆様に、アンケートをお願いしましたところ、ご多用中にもかかわらずご協力をいただき、貴重なご意見をたくさんいただきました。深く感謝申し上げます。今後の取組に活かしていきたいと思っております。アンケート結果の概要は、下記のとおりです。

1. 家庭教育に対する悩みについて

- 悩んだり不安に感じたりすることが「いつも感じる」8% 「たまに感じる」51% 合わせて59%でした。
- 「メディア（テレビ・ゲームなど）との付き合い方」に悩んでいる方が24%と、最も多く、高学年になるほど高くなる傾向にあります。

2. 相談できる相手について

- 「配偶者」26%、「実父母・義父母」24% 「子育てする仲間」21%でした。

3. 参加したい家庭教育を学習する場について

- 「子育て講座」19%、「PTA関係」16%、「家庭教育学級」17%でした。
- 「ほとんどない」が最も多く、31%でした。

4. 保護者同士の交流の機会について

- 交流の機会としては「学校行事」が35%と多く、次いで「ママ・パパ友」23%、「地域活動」19%、「少年団活動」15%でした。

5. 地域活動の参加について

- 「都合が合えば参加する」89%、「参加しない」10%でした。

6. 「ほっとルーム」だよりについて

- 「毎号読む」38%、「時々読む」46% 合わせて84%の方が、読んでもらっています。
- 「とても参考になります。子育てではなく親育てだと感じます。」 「子どもの書いた詩。心にぐっとくるときがあります」等の感想がありました。

7. 「ほっとルーム」の出前サロン「おあしす」について

- 「出向いて開設してもらうのは良い」74%、「その他」9%でした。
- 「よく分からない」「どれくらい周知されているか疑問」等のご意見がありました。

8. 長子家庭訪問について

- 「良いと思う」82%、「その他」が9%でした。
- 「必要な人、希望者のみで良い」、「長子以外でも訪問してほしい」等の意見がありました。

- 子育てに対する何らかの悩みや不安を感じている人が59%でした。「悩みを抱えていても、誰にも話せない」というご家庭もありますので、今後も、1年生の全長子家庭を訪問させていただきたいと思っております。お仕事等で留守にされていても気になさらないでください。子どもさんの事で何か気になる事がありましたら、訪問名刺の連絡先にご連絡くださればありがたいです。また、ご希望があれば長子家庭に限らず、どの学年でも訪問いたします。
- 出前サロン「おあしす」は、広報等や入りやすい雰囲気づくりに工夫し、語らいの場となるように進めていきます。
- 「ほっとルーム」だよりは、分かりやすく親しみやすい情報紙を目指して、家庭教育に関する学習の場や保護者の皆さんが集う場（家庭教育学級・子育て支援センター・読み聞かせグループ等）などを取材し、情報提供を行います。
- 今後も引き続き、いちき串木野商工会議所や市来商工会、青年会議所や各事業所へ「ほっとルーム」だよりをお届けしたり、提言を頂いたりする中で、働いていらっしゃる子育て中の保護者の皆様への支援をお願いしていきます。

～ほっとルーム～
(子どもみらい課内)

子育ての中で、気になること等ありましたら、一人で悩まず、いつでも気軽にご相談ください。一緒に語りましょう。

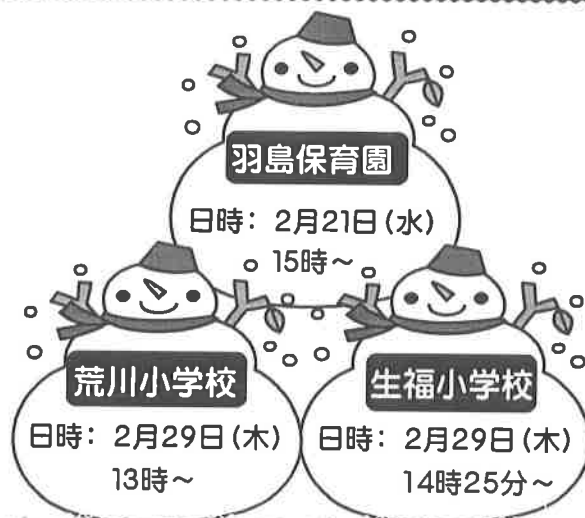
TEL : 33-5654

FAX : 32-3124

「ほっとルーム」の出前サロン 「おあしす」を開設します

保護者の皆様が日頃思っていることや、子どもさんの頑張り等を一緒に語り合いませんか。仕事・家事・育児にお忙しい保護者の皆様が、温かい飲み物を飲みながら、ほっとひと息つくことができる場になればと思います。

右記のとおり、学校や保育園において、家庭教育学級の時間や、子どもさんのお迎えの時間に開設します。たくさんの保護者の皆様とお話してできることを楽しみにしています。



子育て情報

生福小学校 読み聞かせグループ 「そらまめの会」 活動紹介

生福小学校の読み聞かせグループ「そらまめの会」は、平成16年から、職員朝会の時間に、子どもたちだけにならないようにと、保護者の方を中心に発足しました。現在、3人のメンバーで活動されていて、今年から、担任以外の先生の協力を得ながら、月1回、朝の読み聞かせを実施しています。

12月21日(木)の朝の読み聞かせでは、各教室に会員さんや先生方が入り、クリスマスにちなんだ本を読まれていました。この日、1年生のクラスでは、寒さで身体をほぐしてから大型絵本の読み聞かせが始まりました。どの学年も、集中して聞き入っている様子がうかがえました。

また、生福小学校では、5・6年生の図書掲示委員が、月に2回程度、1・2年生に朝の読み聞かせをする活動を行っています。

～子どもたちの感想～



★「サンタの国の12ヶ月」

…サンタさんが他の季節も働いていると初めて知った。

★「メリークリスマスおおかみさん」

…最後にはおおかみと子ぶたが仲良くなったので、自分もおオオカミみたいに素直になりたいと思いました。

～ 会員の声 ～

- ・学年に合った本選びや、子どもたちとの触れ合いが楽しいです。学年によって、違う雰囲気を楽しむことができます。
- ・自分の子どものクラスに入る時は、サプライズにしています。自分の子どもの様子が分かるのも良いです。子どもの同級生から声をかけられることもあり、繋がりを感じられます。

子育て アドバイス

心をとく

「いいのよ。ここから始めれば」

いつでもやり直しができるという安心感を与えます

自信を失くし、不安から起こす子どもの言動を非難するのではなく、子ども心の中心にある思いに共感しながら、耳を傾け、不安で固まった心をやわらかくほぐしてあげることです。過去に眼を向けて何かを学ばせようとするのではなく、過去の過ちも糧にできるという希望を与え、心を未来へ向けさせる自信を与えることが先なのです。

参考文献: 秀嶋 賢人著 「思春期の心をつかむ会話術」

県の相談機関

かごしま教育ホットライン24 ☎0120-783-574
☎099-294-2200※携帯電話からはこちら
24時間子どもSOSダイヤル ☎0120-0-78310
PTAすくすくライン(家庭教育やしつけについて) ☎099-251-0309